



「プロセスから始める ビジネスの変革」

2011 .5.11～13
(株)コンピータジャパン

コンピータ ジャパンとは

CMMI

ISO15504

Automotive SPICE

ISO 26262

アジャイル

アセッサ、改善推進者、
プラクティショナーの育成
アセッサ資格認定

アセスメント
(アプレイザル)の実施

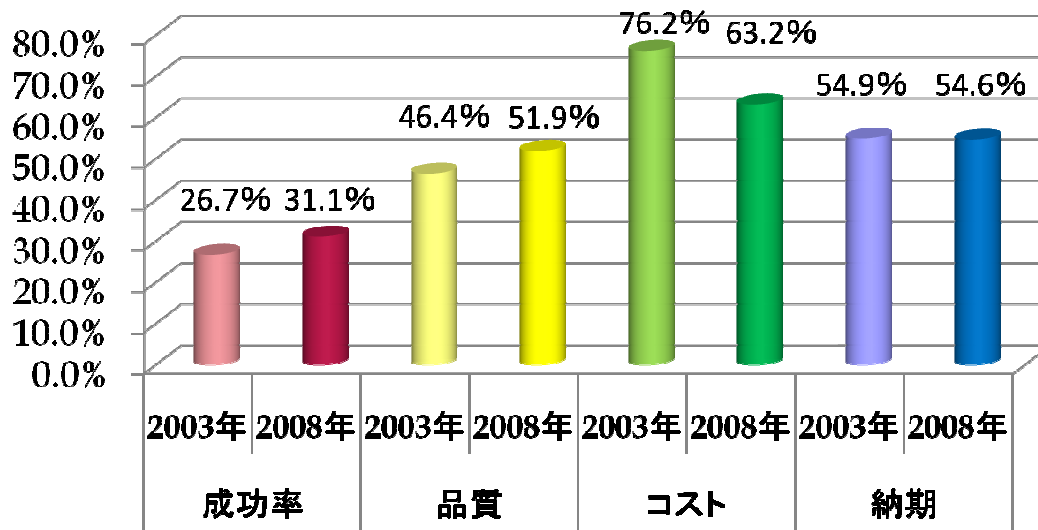
プロセス改善マネジメント
コンサルティング

英国コンピータ社(1991年設立)
コンピータジャパン
コンピータヨーロッパ
プロセス改善の専門家集団

あなたのプロジェクトは大丈夫ですか？

プロジェクトの実態(QCDの順守率)

: ユーザ企業のデータ(2003年と2008年の比較)



出典: 日経コンピュータ(2008年12月2日号)

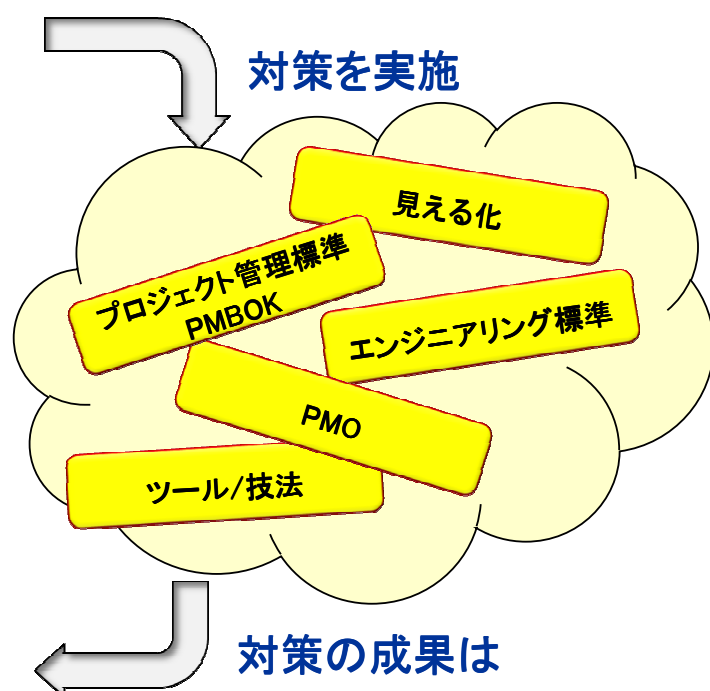
環境の変化に対応できていますか？

ビジネス環境の変化

- ⇒ 企業のIT支出は横ばい、投資効率の最大化
- ⇒ ソフトウェア開発には短納期等さらに厳しい要求
- ⇒ グローバル対応/競争
- ⇒ 安全性、企業統治対応

プロジェクトの現実

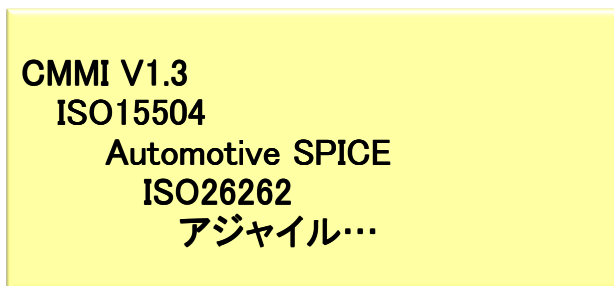
- ⇒ 相変わらずプロジェクトに様々な課題
- ⇒ 変わらないプロジェクトの成功率



プロセス視点の改善



- ⇒ 改善は、測定・制御可能なプロセスの視点で可能
- ⇒ 改善は、PDCAを回すシステムチックな方法が必要
 - ⇒ プロセスモデルの意義
- ⇒ 改善は、変化する環境に対応し継続的に実施
- ⇒ そして、ビジネスの競争優位を追求



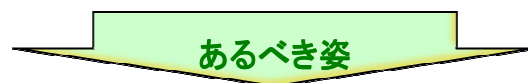
ソフトウェアプロセス改善の現状

CMMI改善活動結果の業界データ:

- ⇒ アセスメント後、**72%**の組織が、成功を収めていない
- ⇒ 最初の3年間で、**83%**の組織が、改善努力を断念
- ⇒ 断念した組織の、**57%**が、将来的に改善を再開するつもり
(SEPG China 基調プレゼンテーション、ポーイング社 John Vu、2007年12月より)

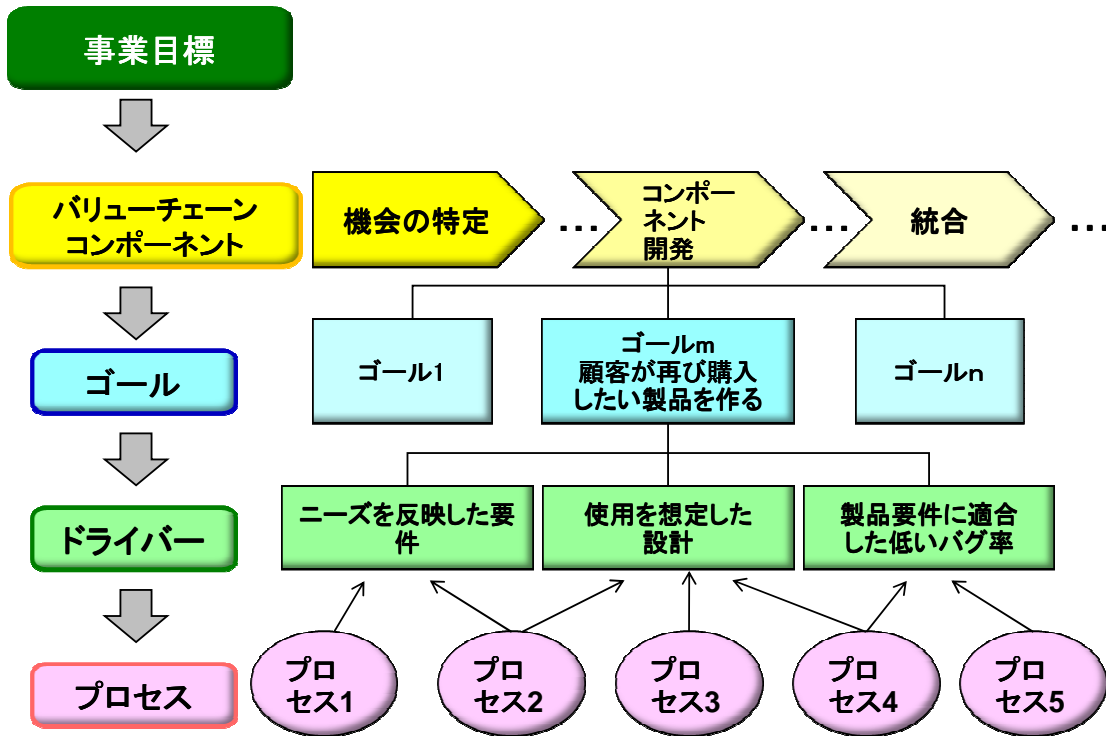


- ⇒ アセスメントの実施、成熟度レベルを過剰に重視
- ⇒ 改善を行うという意識が希薄
- ⇒ 方向性、定量的な目標を持たない
- ⇒ モデルありき



- ⇒ 経営戦略、経営目標の達成からスタート
- ⇒ 組織改革活動としての取り組み(破壊と創造)
- ⇒ 全体最適化
- ⇒ 改善活動の組織戦略を明確に

事業目標から始める



プロセス改善のステップ

IT開発プロセスから、企業のビジネスまでの改善マネジメントを支援
 蓄積した経験、実績、独自のノウハウを体系化した手法(PPIM*)に基づき、
 顧客ニーズに合わせて提供



*: Process Professional Improvement Management (Supported by Compita)

アセスメント手法

- ⇒ CMMI
- ⇒ ISO15504
- ⇒ Automotive SPICE

■改善成果の確認

- ・ギャップアセスメント
⇒改善のスタートポイントの確認
- ・簡易アセスメント
⇒実施フェーズでの成果の検証
- ・公式アセスメント
⇒成果の確認、次のステップの継続的改善へ！

■アセスメントの手法

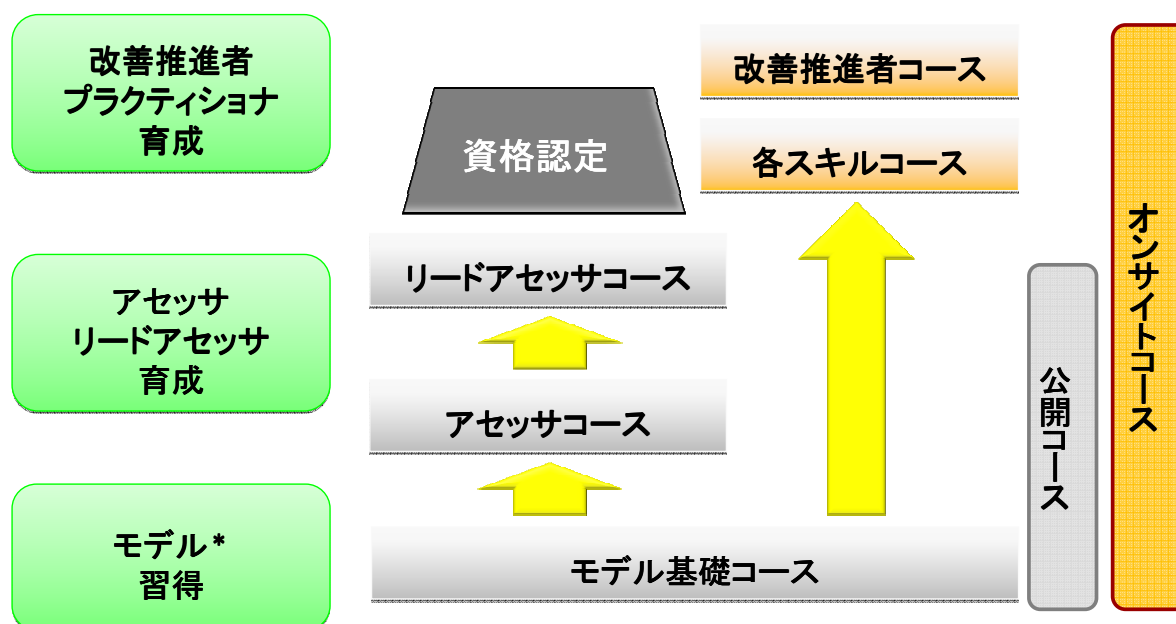
プロセスプロフェッショナルアセスメント(PPA)

- ・マルチモデル対応
- ・SEIのARC、ISO15504に準拠

■PPA Webサイト

- ・アセスメント結果、アセッサ資格情報
- ・成果、リソース共有化

改善専門家の育成



* : CMMI、ISO15504/Automotive SPICE

無料オンサイトセミナーのご紹介

岡野アイエスコンサルティング株式会社と
株式会社 コンピュータジャパンとの共同開催による、

「変化への対応、トップ主導でおこなうプロセス革新」セミナーを
オンサイトで開催いたします。是非とも御社トップマネジメントの
主催により、開発プロセス革新活動にお役立てください。

アジェンダ

1. 「開発組織、開発プロセスの陳腐化を防ぐ、変化への気づき」
2. 「時代を勝ち抜くCMMIプロセスマネジメント」

詳細は営業、コンサルタントにお尋ねください

コンピュータジャパンは、
『変化するビジネス環境への対応』を
ご支援いたします



株式会社コンピュータジャパン

東京都中央区日本橋本町1-3-1

電話: 03-3516-2232

E-mail: inquiry@compita-japan.com

URL: www.compita-japan.com